

平成 17 年 8 月

試験研究業務月報



処理内容	乾式貯蔵区	慣行区
採花	3輪開花時	4～5輪開花時
貯蔵	乾式貯蔵（10、1週間）	なし
開花液処理	上白糖5% + クエン酸 200ppm	なし

観賞開始7日目のアスター「松本クリアスカーレット」

アスターの乾式貯蔵による出荷期の調整

京都府内のアスター生産では、8月の盆需要期には採花盛期を過ぎてしまい、出荷量が減少することが問題となっています。は種時期で採花期を遅らせることが難しいため、出荷適期（4～5輪開花）より早く採花し、貯蔵することで出荷期を調整することが可能か検討しました。

3輪開花時に採花し、出荷適期になるまで乾式貯蔵（水に浸けずに10、1週間）を行いました。その後、開花液（上白糖5% + クエン酸 200ppm）処理、乾式輸送シミュレーション（出荷箱に室温、1日）を行い、水道水に生けて観賞を開始しました。松本クリアスカーレットでは、乾式貯蔵区の観賞日数や花の色は、慣行区とほぼ同等となったため、1週間の乾式貯蔵による出荷期の調整が可能であると考えられました。

農業総合研究所